

えほんのおへや通信



2011年11月1日(火)発行 サンガこども園 <http://sanga.iinaa.net/index.html>

今年もあと2ヶ月、日を重ねるごとに寒さが増していく感じがします。赤いカラスウリが夕日に映える季節です。
サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」11月号の紹介。

こどものとも 0.1.2 10ヶ月～2歳向き

「むくむく もごもご」

松竹いね子 文 / ましませつこ 絵

セーターから動物の体の一部が覗いています。「むくむく もごもご なかで うごいているのは だあれ?」と、ページをめくると、「ばあ! こいぬの わんわん」と、こいぬが晴れ晴れとした顔を出します。



こどものとも 年少版 2～4歳向き

「はぐ」

佐々木マキ 作

海辺にやってきた、らくだとしましま。久しぶりに会った嬉しさで、「はぐ」っと抱き合います。次にやってきたわにとペンギンも、たことおじさんも、女の子とぶたも、嬉しくて、ギュッと抱き合います。



こどものとも 年中向き 4～5歳向き

「センジのあたらしいいえ」

イチノロブ・ガンバートル 文 / 津田紀子 訳 / パーサンスレン・ボロルマー 絵

中古の家に引っ越したばかりのセンジが、家も古いし、友だちもいないしと、ふて腐れて自分の部屋のベッドで寝ころんでいると、壁の中から、次々へんな生きものが飛びだしてきました。……。

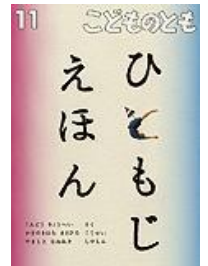


こどものとも 5～6歳向き

「ひともじえほん」

こんどうりょうへい 作 / かきのきはらまさひろ 構成 / やまもとなおあき 写真

人の体でひらがなの50音を全部作ってみました。1人で作れる文字、2人で作れる文字、何人かできないとできない文字。立ってできる文字、寝転がらないとできない文字。いろいろあります。

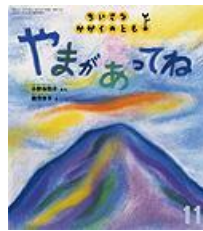


ちいさなながくのとも 3～4～5歳向き

「やまがあってね」

小野寺悦子 文 / 織茂恭子 絵

おはよう。窓から見える山に、毎朝あいさつします。山は、いつもゆったりどっしり。今朝の山は濃い青色。ぼうしにしてもいいな。おや、今朝の山はぼんやりぼやけています。・・



今月は他にこんな絵本も購入しました。

「いのちのふね」

鈴木 まもる 作

遠くへ旅立ってしまった大切な人は、命の船に乗って、雲の上に行き、楽しく過ごしながら、あなたのことを見守っています。そして、どんどん元気になって、どんどん若くなって、赤ちゃんになって、雲の上からまた旅だっていくのです。

4歳から



講談社

「もりのてぶくろ」

八百板洋子 文 / ナターリヤ・チャルーシナ 絵

きれいな黄色の葉が1枚、森の小道に落ちていました。その形は、まるでてぶくろのよう。通りすがりの動物たちはみな、そっと手をあててゆきます。最後にやってきたのは……。

3歳から



福音館書店

【雑感】

東京から富士山が見える日数が1970年代頃には年間50日ほど、ここ数年では100日前後と二倍に増えているというデータがあります。高度成長期に比べて大気汚染が改善されて、空気が澄んでためだと考えられますが、都市化でコンクリートやアスファルトにおおわれる面積が増え、地面から蒸発する水蒸気が減ったことも遠くの富士山まで見渡せるようになった理由として考えられています。

毎日、山を眺めていたら季節や天気によって変わる山の表情を見ることができます。日頃、山を見ないで日々の生活に忙殺されていませんか?



(年齢は目安です。)